

2025年3月13日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

**ASEAN のシンクタンク・研究機関等から
次世代専門家グループが FRONTEO を訪問
経済安全保障に関する事業紹介と意見交換を実施**

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、ASEAN8 各国のシンクタンクや研究機関から選ばれた 8 人の著名な若手・中堅研究者の訪問を受けました。本訪問団の事業アドバイザーを務める東京大学先端科学技術研究センターの井形 彬 特任講師の帯同の下、一行は FRONTEO を訪れ、「経済安全保障における AI 技術の活用」をテーマに FRONTEO の守本社長や経済安全保障シニアアナリスト、トップ AI エンジニアらと活発なディスカッションを行いました。



本訪問は、国際交流基金が実施する「令和 6 年度東南アジアパートナーシップ（JFSEAP）・プログラム ASEAN 次世代専門家グループ招へい事業」¹⁾の一環として行われました。同事業は、ASEAN 各国のシンクタンクや研究機関から若手・中堅研究者を日本に招き、日本と ASEAN に共通する政策課題について、日本の政策関係者や研究者と対話・意見交換を行うことを目的としています。FRONTEO は

これらの活動を通じ、日本の政策に関する理解を深めるとともに、日本・ASEAN 間の知的ネットワークの構築と相互理解の促進を目指しています。

FRONTEO では、経済安全保障事業に関するレクチャーや自社開発の特化型 AI「KIBIT (キビット)」を搭載した経済安全保障対策 AI ソリューション「KIBIT Seizu Analysis (キビット セイズ アナリシス、<https://osint.fronteo.com/>)」の紹介、ラボラトリーの見学を実施し、その後意見交換を行いました。

参加者からは、KIBIT Seizu Analysis の機能や日本の政策・戦略、デューデリジェンスに関する法整備状況、経済安全保障における課題、AI の活用と課題、高度 AI 人材の確保など、幅広いテーマについて多くの質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。

参加者（敬称略）

- **Aaron Jed Rabena**（フィリピン大学アジアセンター アシスタント・プロフェッサー）
- **Aira Azhari**（Institute for Democracy and Economic Affairs (IDEAS) CEO 代理）
- **Chanthouna Southammavong**（ラオス外務省 アジア太平洋・アフリカ局 東南アジア第一課長）
- **Dandy Rafitrandi**（インドネシア戦略国際問題研究所 (CSIS) 研究員）
- **Him Rotha**（Cambodian Center for Regional Studies 副所長）
- **Karthik Nachiappan**（シンガポール国立大学南アジア研究センター リサーチ・フェロー）
- **Le Phuong Hoa**（ベトナム社会科学院 (VASS) 東南アジア研究所 (ISEAS) 副所長）
- **Sunida Aroonpipat**（タマサート大学政治学部 教務担当副学部長）

FRONTEO は、今後も経済安全保障領域やライフサイエンス領域における AI ソリューションのリーディングカンパニーとして革新的なソリューションの開発・社会実装を推進いたします。また関連技術の研究、知見の深化、関係機関とのネットワーク強化を通じて、国および企業の経済安全保障対策に貢献してまいります。

- 1) 国際協力基金：東南アジアパートナーシップ (JFSEAP) プログラム/ASEAN次世代専門家グループ招へい事業
https://www.jpf.go.jp/j/project/intel/exchange/jfseap/gi_inbound/#details

■ KIBIT Seizu Analysisについて URL : <https://osint.fronteo.com/>

KIBIT Seizu Analysisは、FRONTEOの自社開発した解析技術を搭載した、経済安全保障対策を目的に、サプライチェーンや企業の実質株主による支配状態などのネットワーク解析を行うシステムです。現在、下記の3つのソリューションを提供しています。

- ① サプライチェーン解析ソリューション：サプライチェーンにおける choke point（戦

略的に重要な地点) や懸念組織とのつながりの可能性、依存度を把握する

- ② 株主支配ネットワーク解析ソリューション：複雑なネットワーク上での株主間の影響力を、間接持株比率を補正した独自の手法により解析し、隠れた支配力の伝搬を把握する
- ③ 研究者ネットワーク解析ソリューション：機微技術に関わる研究開発について、研究者の所属組織などに注目した人脈の分析と、それに基づくリスクを把握する

■FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の特化型 AI「KIBIT (キビット)」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術 (日米欧特許取得) は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化 (構造を可視化) する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、KIBIT の技術が創薬の仮説生成や標的探索にも生かされています。



KIBIT の独自技術およびアプローチを通じて、「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、[ビジネスインテリジェンス](#)、[経済安全保障](#)、[リーガルテック AI](#) の各分野で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ (現：東証グロース) 上場。日本、米国、韓国、台湾で事業を展開。第一種医療機器製造販売業許可取得、管理医療機器販売業届出。資本金 898,618 千円 (2024 年 8 月 31 日時点)。

※FRONTEO、KIBIT、Seizu AnalysisはFRONTEOの日本および米国における商標または登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email: pr_contact@fronteo.com 電話：080-4321-6692

<経済安全保障事業・AI ソリューションに関するお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 経済安全保障室

<https://osint.fronteo.com/contact/>